

【フルメット液剤の最新適用表】

2024年4月10日現在

作物名	使用目的	使用濃度	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホルクロルフェニロンを含む 農薬の併用回数
ぶどう (2倍体米国系品種) 〔無核栽培〕	着粒安定	ホルクロルフェニロン 2~5ppm	満開予定日 約14日前	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	ジベレリンに加用 花房浸漬 (ジベレリン第2回目処理は慣行)	2回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 4回以内
	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開約10日後		ジベレリンに加用 果房浸漬 (ジベレリン第1回目処理は慣行)	
ぶどう(大粒系デラウェア) 〔無核栽培〕	無種子化果粒 肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	展葉7~8枚時	1回	ジベレリン200ppm液に加用 花房浸漬	1回
ぶどう (デラウェア) 〔無核栽培〕 〔露地栽培〕	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 3~5ppm	満開約10日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	ジベレリンに加用 果房浸漬 (ジベレリン第1回目処理は慣行)	2回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 4回以内
		ホルクロルフェニロン 3~10ppm			ジベレリンに加用 果房散布 (ジベレリン第1回目処理は慣行)	
	ジベレリン処理 適期幅拡大	ホルクロルフェニロン 1~5ppm	満開予定日 18~14日前		ジベレリンに加用 花房浸漬 (ジベレリン第2回目処理は慣行)	
	着粒安定	ホルクロルフェニロン 2~5ppm	開花始め~満開時		花房浸漬	
ホルクロルフェニロン 5ppm		花房散布				
ぶどう (デラウェア) 〔無核栽培〕 〔施設栽培〕	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 3~5ppm	満開約10日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	ジベレリンに加用 果房浸漬 (ジベレリン第1回目処理は慣行)	2回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 4回以内
		ホルクロルフェニロン 3~10ppm			ジベレリンに加用 果房散布 (ジベレリン第1回目処理は慣行)	
	ジベレリン処理 適期幅拡大	ホルクロルフェニロン 1~5ppm	満開予定日 18~14日前		ジベレリンに加用 花房浸漬 (ジベレリン第2回目処理は慣行)	
着粒安定	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	開花始め~満開時	花房浸漬			
ぶどう (2倍体欧州系品種) 〔無核栽培〕	着粒安定	ホルクロルフェニロン 2~5ppm	開花始め~満開前 又は 満開時~満開3日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	開花始め~満開前に使用する場 合 花房浸漬 (ジベレリン第1回目及び 第2回目処理は慣行)	3回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 5回以内
					満開時~満開3日後に使用する場 合 ジベレリンに加用 花房浸漬 (ジベレリン第2回目処理は慣行)	
	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開10~15日後		ジベレリンに加用 果房浸漬 (ジベレリン第1回目処理は慣行)	
	無種子化 果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 10ppm	満開3~5日後 (落花期)		ジベレリンに加用 花房浸漬	
花穂発育促進	ホルクロルフェニロン 1~2ppm	展葉6~8枚時	花房散布			
ぶどう (3倍体品種) 〔無核栽培〕	着粒安定	ホルクロルフェニロン 2~5ppm	開花始め~満開前 又は 満開時~満開3日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	開花始め~満開前に使用する場 合 花房浸漬 (ジベレリン第1回目及び 第2回目処理は慣行)	2回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 4回以内
					満開時~満開3日後に使用する場 合 ジベレリンに加用 花房浸漬 (ジベレリン第2回目処理は慣行)	
果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開10~15日後	ジベレリンに加用 果房浸漬 (ジベレリン第1回目処理は慣行)			

作物名	使用目的	使用濃度	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホルクロルフェニロンを含む 農薬の併用回数
ぶどう (サニールージュを除く 巨峰系4倍体品種) 〔無核栽培〕	着粒安定	ホルクロルフェニロン 2~5ppm	開花始め~満開前 又は 満開時~満開3日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	開花始め~満開前に使用する場 合 花房浸漬 (ジベレリン第1回目及び 第2回目処理は慣行)	3回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 5回以内
					満開時~満開3日後に使用する場 合 ジベレリンに加用 花房浸漬 (ジベレリン第2回目処理は慣行)	
	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開10~15日後		ジベレリンに加用するか又はホルクロル フェニロン単用で処理 果房浸漬 (満開時~満開3日後のジベレリンによる 無種子化処理は慣行)	
	無種子化 果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 10ppm	満開3~5日後 (落花期)		ジベレリンに加用 花房浸漬	
花穂発育促進	ホルクロルフェニロン 1~2ppm	展葉6~8枚時	花房散布			
ぶどう (サニールージュ) 〔無核栽培〕	着粒安定	ホルクロルフェニロン 2~5ppm	開花始め~満開前 又は 満開時~満開3日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	開花始め~満開前に使用する場 合 花房浸漬 (ジベレリン第1回目及び 第2回目処理は慣行)	3回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 5回以内
					満開時~満開3日後に使用する場 合 ジベレリンに加用 花房浸漬 (ジベレリン第2回目処理は慣行)	
	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開10~15日後		ジベレリンに加用するか又はホルクロル フェニロン単用で処理 果房浸漬 (満開時~満開3日後のジベレリンによる 無種子化処理は慣行)	
	無種子化 果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 10ppm	満開3~5日後 (落花期)		ジベレリンに加用 花房浸漬	
	着粒密度低減 果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 3ppm	満開予定日 14~20日前		ジベレリンに加用 花房浸漬 (ジベレリン第2回目処理は慣行)	
花穂発育促進	ホルクロルフェニロン 1~2ppm	展葉6~8枚時	花房散布			
ぶどう (2倍体米国系品種) 〔有核栽培〕	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開15~20日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	果房浸漬	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内
ぶどう (マスカット・オブ・アレ キサンドリアを除く2倍体 欧州系品種) 〔有核栽培〕	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開15~20日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	果房浸漬	2回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 4回以内
	花穂発育促進	ホルクロルフェニロン 1~2ppm	展葉6~8枚時		花房散布	
ぶどう (巨峰系4倍体品種) 〔有核栽培〕	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開15~20日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	果房浸漬	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内
ぶどう (マスカット・オブ・アレ キサンドリア) 〔有核栽培〕	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開15~20日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	果房浸漬	3回 以内、但 し降雨等によ り再処理を行 う場合は合計 5回以内
	着粒安定	ホルクロルフェニロン 2~5ppm	満開期		花房浸漬	
	花穂発育促進	ホルクロルフェニロン 1~2ppm	展葉6~8枚時		花房散布	
ぶどう (あづましずく)	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5ppm	満開約4~13日後	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内	ジベレリンに加用 果房浸漬 (ジベレリン第1回目処理は慣行)	1回、但し 降 雨等により再 処理を行う場 合は合計2回 以内
ぶどう(高尾)	果粒肥大促進	ホルクロルフェニロン 5~10ppm	満開時~満開7日後	ジベレリンに加用 花房又は果房浸漬		

※最新の適用表等は住友化学様より資料の提供を受けました。